バーコード仕様

桁	1 2	3	4 5 6 7 8	9 10 11	12 13	14	15	16 17 18 19 20 21 22 23 24	25 26	27	28 29	30	31 32 33 34 35 36	37	38 39 40 41 42 43	44
項目名	識別子	国コード	委託者コード	利用企業コード	調定年度	保険区分	区コード	通知書番号	期	納付種別	期毎納付書発行回数	再発行区分	支払期限	印字フラグ	支払金額	チェックデジット

No	項目名	桁数	内容
1	識別子	2	「91」固定。
2	国コード	1	「9」固定。
3	委託者コード	5	CVS収納管理情報マスタ.委託者コード。
4	利用企業コード	3	CVS収納管理情報マスタ.企業コード。
5	調定年度	2	調定年度　和暦を西暦に変換し、下2桁をセット。
6	保険区分	1	国民健康保険料:1、介護保険料:2、後期高齢者医療保険料:3。
7	区コード	1	中央区:1、北区:2、東区:3、白石区:4、豊平区:5、南区:6、西区:7、厚別区:8、清田区:9、手稲区:0
8	通知書番号(9桁)	9	納付通知書番号の1桁目から9桁目をセット。
9	期	2	期情報として利用　期をセット。
10	納付種別	1	保険料・延滞金を判断する区分として利用　保険料:0　延滞金:1をセット。
11	期毎納付書発行回数	2	納付書の発行回数として利用。 国保システムでは00～09までの数字を使用、収滞納システムでは10～99の数字を使用し、それぞれ再発行区分と合わせて利用する。 例) 国保システムでの10回目の再発行については、発行回数は09から00に戻り、再発行区分に1を加算する。 収滞納システムで分割等で90枚目の納付書を発行する場合は、99から10に戻り、再発行区分に1を加算する。 ※再発行区分が9を超える場合は0に戻す
12	再発行区分	1	再発行回数として利用。0～9まで
13	支払期限	6	CVS収納管理情報マスタ.契約終了日の西暦下2桁＋月2桁＋日2桁。
14	印字フラグ	1	「0」固定。
15	支払金額	6	支払金額。
16	チェックデジット	1	モジュラス10にて算出。

自由使用欄（18桁）